

〔桀材用〕高耐力フレックスホールダウン 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用 途

- 土台・基礎と柱の緊結、柱と横架材の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。
※この製品は桀組壁工法用ではありません。同じ形状で〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52が別途ございます。



ハウスプラス確認検査(株)性能試験

特 長

- 柱に桀材(厚み30mmまたは45mm)を介して施工できます。
- 真壁パネル工法の桀材や入隅時の受材を介したまま施工できるため、桀材・受材の欠き込みが不要です。
- めり込み防止用に桀材を設けた場合でもご使用いただけます。
- 土台プレートⅡ(めり込み防止用)とアンカーボルトの干渉を回避できます。
※桀材の厚みが30mmの場合、桀材面からアンカーボルト芯までの距離が28~37mmになるよう施工してください。
- クロムフリー高耐食金属表面処理の「プロイズ」を採用し、環境に配慮した製品です。

〔桀材用〕高耐力フレックスホールダウン

短期基準接合引張耐力(Pot)

桀材30mm **47.9kN** 桀材45mm **54.3kN**

付 属 品

- 専用ビス YPR-115(Mグリーン)×18本
- 専用座金×1枚

ボルト・座金・ナット類について

本製品を使用する場合、必ず以下の高耐力専用金物(高耐力フレックスアンカーボルト、高耐力フレックス両引きボルト、高耐力座金60、高耐力高ナット)を併せてご使用ください。

施工方法

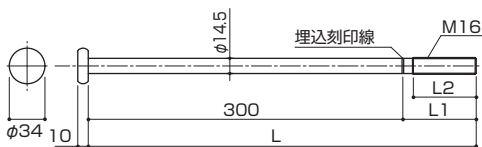
- ① 土台部のアンカーボルト(M16)や上下階の両引きボルト(M16)に本体を通します。
- ② 付属のビスで本体を桀材の上から柱に取付けます。
- ③ 付属の専用座金を入れ、ナットで締付けます。

桀材を固定する釘は以下の製品をご使用ください。

桀材厚み	固定釘
30mm	N75 または N90 で 17本以上
45mm	N90 で 17本以上

高耐力専用金物 (別売品)

■ 高耐力フレックスアンカーボルト



型番	L	L1	L2
PZ-FA16-70	700	400	100
PZ-FA16-93	930	630	100

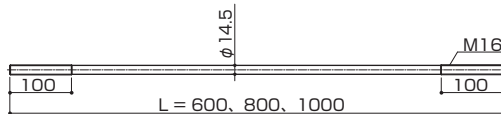
対応可能引張耐力：60.0kN以下

仕様条件

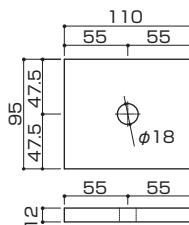
埋め込み長さ (mm)	300以上*
コンクリート幅 (mm)	150以上
コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	Fc=21 以上

* アンカー笠下からの長さ

■ 高耐力フレックス両引きボルト



■ 高耐力座金60



短期基準耐力

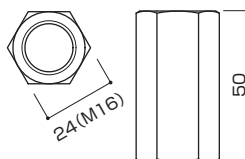
ベイマツ類：60.0kN

ヒノキ類：54.3kN

スギ類：41.8kN

※木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)より算出。

■ 高耐力高ナット



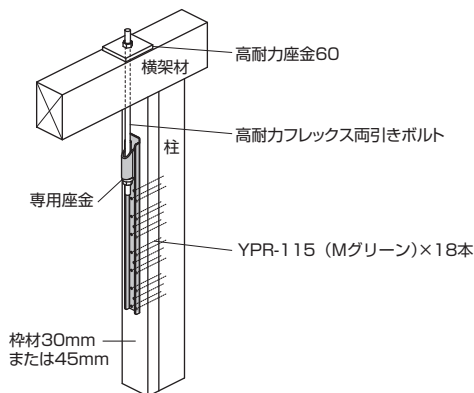
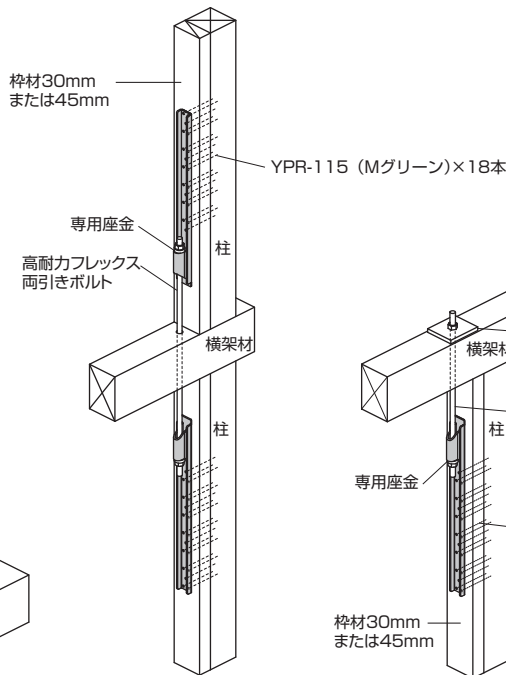
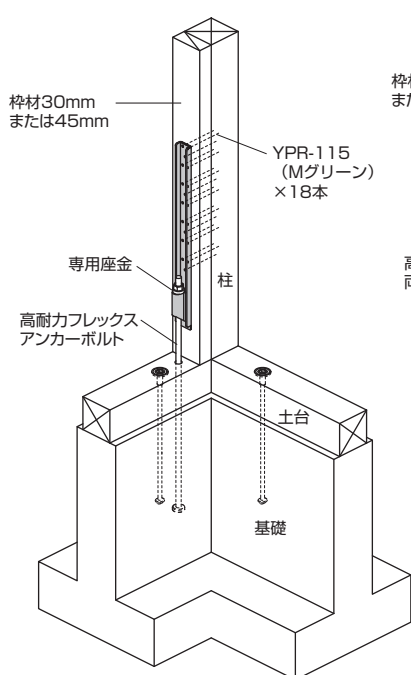
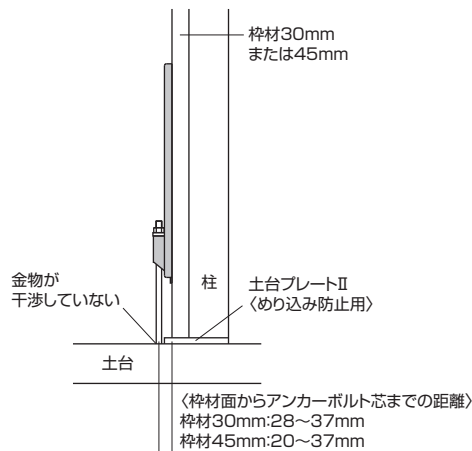
高耐力フレックスアンカーボルトと高耐力フレックス両引きボルトを継ぐ場合は、高耐力高ナットをご使用ください。



土台プレートII(めり込み防止用)を使用する場合、枠材の厚みによってはアンカーボルトと干渉することがあります。

干渉しない範囲

枠材厚み	枠材面からアンカーボルト芯までの距離
30mm	28~37mm
45mm	20~37mm



注意事項

- 必ず付属の専用ビス、専用座金を使用して接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス・専用座金以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
- 締めすぎに注意!!ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- 必ず高耐力専用金物をご使用ください。
※ナットは必ずボルトに付属された高耐力ナットまたは別売品の高耐力高ナットをご使用ください。
- 高耐力フレックスアンカーボルトと高耐力フレックス両引きボルトを継ぐ場合、高耐力高ナットに各20mm以上かけてください。
- 高耐力フレックスアンカーボルトの埋め込み長さはアンカー笠下300mm以上、基礎幅は150mm以上、コンクリート設計基準強度は21N/mm²以上にしてください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 本製品は高耐力フレックスホールダウン60、〔2×4用〕高耐力フレックスホールダウン52と金物を共用していますが、接合ビスが異なりますのでご注意ください。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

K20210219A

BXカネシン株式会社

本 社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770

技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077